

# 感染症発生状況

令和元年5月30日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年5月20日（月）～5月24日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】269名 【職員】18名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】53名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数60名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：熱（128名）、下痢・腹痛（55名）、咳・鼻水（46名）、嘔気・嘔吐（22名）

疾病別：胃腸炎（32名）、流行性角結膜炎（4名）、気管支炎・肺炎（2名）、突発性発疹症（1名）

【職員】症状：熱（7名）、咳・鼻水（2名）、頭痛（1名）

**ノロウイルス性腸炎、流行性結膜炎が見られます。インフルエンザがなくなりました。**

## 【症状別の発生状況】

**胃腸炎** 河北、河南地域で減少。玉山、厨川、盛南地域で増加しました。

流行性角結膜炎 盛南地域で減少。玉山地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 玉山、河北、都南地域で減少。厨川地域で増加しました。

突発性発疹症 玉山地域で減少しました。

## 【県の状況（5/13～5/19）】

感染性胃腸炎は、ノロウイルス等による集団感染事例が保育所で8件発生し、昨年と同時期と比較して多くなっています。ノロウイルスは感染力が強く、集団生活を営む施設では、感染予防対策の再確認が必要です。調理前や食事前、トイレの後には石けんと流水による十分な手洗いを行うこと、患者の吐物や便は使い捨て手袋やマスクを着用し、塩素系薬剤で処理することが重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は、二戸地区で警報値（定点あたり患者数2人）を超えました。本疾患は、小児を中心に流行する発疹性疾患です。両頬に境界明瞭な紅斑が、四肢にはレース状の紅斑が現れます。春から初夏にかけて流行するので注意が必要です。

溶連菌咽頭炎は、前週より増加しました。本疾患は、発熱や全身倦怠感、咽頭痛を主症状とする細菌感染症です。予防には、手洗いとうがいの励行、患者との濃厚接触を避けることが重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】